



「みんなが輝く羽村二中」

清風

令和8年5月8日
学校だより5月号
羽村市立羽村第二中学校

自分らしい生き方

校長 清水 大史

新緑の香りを感じる季節となりました。それぞれのGWを過ごし、心身のリフレッシュに繋がっていたら嬉しいです。5月は気温が上がることも予想されますので、生徒たちの体調に気を配りながら教育活動を進めていきます。5月の全校朝礼で、生徒たちに伝えたメッセージを紹介いたします。

「全校朝礼の話」より

今日の朝礼の目標は、「自分らしい生き方について考える」です。学校では、自分らしい生き方の実現を目指し、「キャリア教育」というものに取り組んでいます。皆さんは、このキャリア教育を各教科の授業、学級・生徒会活動、行事など、様々な場面で実は学んでいます。自分らしい生き方を実現するために、重要となる4つの力について簡潔に話をします。

1. 人間関係をつくる力

- ・人間は一人では生きられません。相手の意見をしっかりと聞き、自分の考えを正確に伝える力が重要です。責任をもって役割を果たし、相手やみんなを思いやって協力する力も大切です。

2. 自分を理解する力

- ・自分を理解するためには、自分の良さや課題を知ろうとする力が必要です。自分の好きなことや、できることに自ら取り組んだり、我慢をしたり、苦手なことでも挑戦したりする力も大切です。

3. 課題に対応する力

- ・知りたいこと、分からないことを解決していくためには、自ら調べる力が必要です。自ら解決策を考えて計画・実行するなど、自分やみんなと課題を解決していこうとする力も大切です。

4. 将来を設計する力

- ・自分の未来を創っていくためには、自分の将来を創造していく力が必要です。学んだことを自分の生活に活かしていったり、夢や目標の実現に向けて取り組んだりしていく力も大切です。

自分らしい生き方とは、将来だけでなく、今この瞬間も大切なことです。今、自分らしさを大切にしていますか。ぜひ、この4つの力を意識して、学校の様々な場面で取り組み、自分らしさを育ててほしいと思っています。将来を創造すること、夢や目標を追求することは、とても楽しいことです。一人一人の生き方をみんなと応援し、「みんなが輝く羽村二中」を一緒に創っていきましょう。

始業式・第55回入学式

4月6日、春の訪れとともに、新年度が始まりました。本校にも169名の新生を迎え、学校全体が新しい活気に包まれています。翌日の入学式に向けて、在校生は心を込めて準備を行いました。校内の清掃から始まり、各教室の飾りつけ、そして式場となる体育館の準備まで、一つ一つの仕事に丁寧に取り組む姿が見られました。「新生を温かく迎えたい」という思いが、学校全体に広がっていました。

4月7日の入学式は、在校生代表の言葉が新生の不安を和らげる温かな内容でした。また、新生代表の言葉も堂々としており、新しい学校生活への決意が感じられる立派なものでした。



生徒会活動

4月20日、今年度初めての生徒会朝礼が行われ、生徒会本部役員と各委員会の委員長からの話がありました。それぞれが自分の考えをしっかりと語り、その堂々とした発表からは、「よりよい学校をつかっていこう」という強い気持ちが伝わってきました。生徒会の今年度のスローガンは、「共創 ～共に創る羽村二中～」です。ぜひ、一人一人が“主体性を育む”ことができる活動にしていきたいと思います。



保護者会・部活動保護者会

お忙しい中、学年保護者会や部活動保護者会に御出席いただき、ありがとうございました。学年保護者会では、校長より今年度の学校

経営方針や部活動の地域移行について、現状と今後の見通しを説明させていただきました。3学年は5月14日から始まる修学旅行など、2学年は来年度を見据えて学習・評価など、そして、1学年は1月に実施されるスキー教室の話などがありました。部活動保護者会では、会が終わった後に、体育館や校庭で生徒の様子を見守る保護者の方も多く、生徒の成長を共有し、支えていく大切な機会となりました。



図書室イベント

今年度最初の図書室イベントとして、第1回は網野副校長おすすめの喜多川泰さんの小説『運転者』を紹介しました。昼休みの10分間を活用し、図書室にて副校長手作りの紙芝居で物語の魅力を伝えました。「運はポイントのように貯めるもの」「運を転じる者=運転者」というメッセージを送りました。当日は、本に興味をもった生徒たちが集まり、穏やかで和やかな時間となりました。イベント後には、喜多川泰さんの本が3冊貸し出されるなど、本に親しむ機会となりました。

